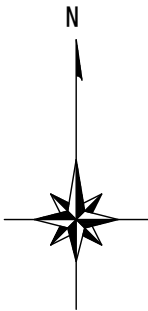
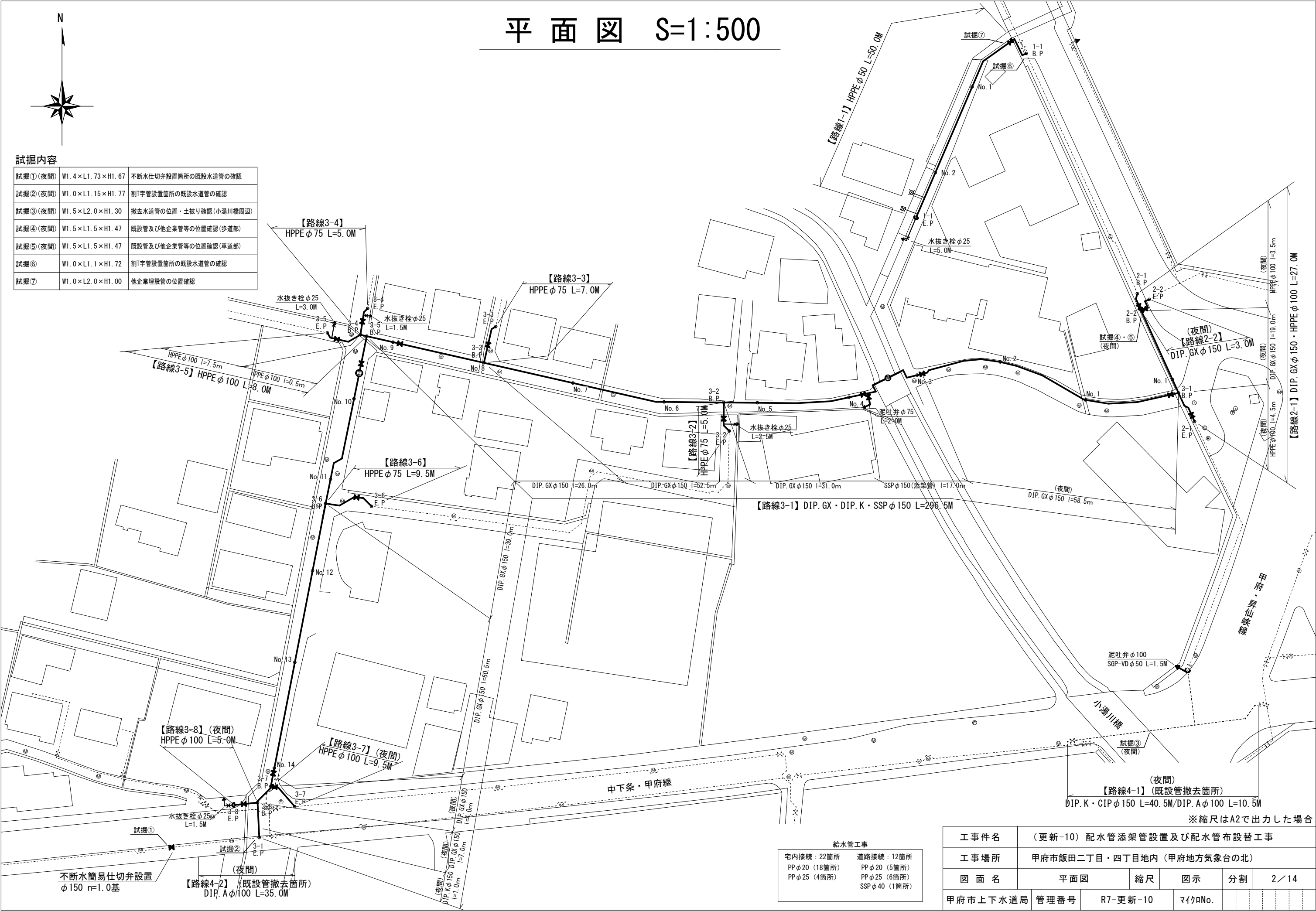


平面図 S=1:500



試掘内容

試掘①(夜間)	W1.4×L1.73×H1.67	不断水仕切弁設置箇所の既設水道管の確認
試掘②(夜間)	W1.0×L1.15×H1.77	割T字管設置箇所の既設水道管の確認
試掘③(夜間)	W1.5×L2.0×H1.30	撤去水道管の位置・土被り確認(小湯川橋周辺)
試掘④(夜間)	W1.5×L1.5×H1.47	既設管及び他企業管等の位置確認(歩道部)
試掘⑤(夜間)	W1.5×L1.5×H1.47	既設管及び他企業管等の位置確認(車道部)
試掘⑥	W1.0×L1.1×H1.72	割T字管設置箇所の既設水道管の確認
試掘⑦	W1.0×L2.0×H1.00	他企業埋設管の位置確認

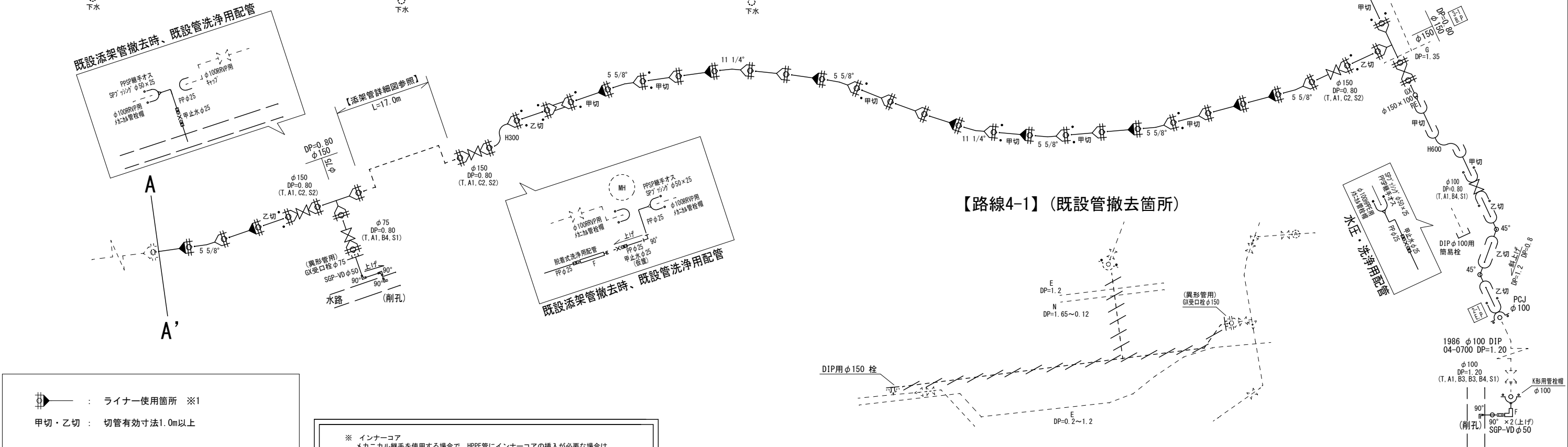
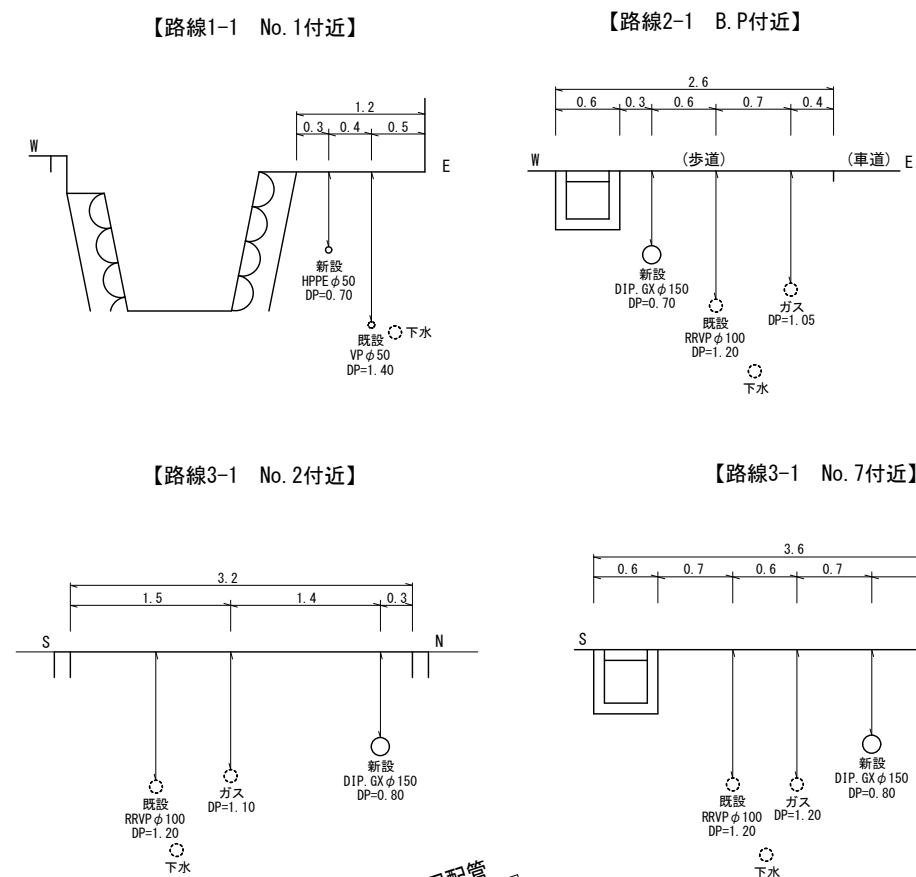


給水管工事	
宅内接続：22箇所 PPφ20 (18箇所) PPφ25 (4箇所)	道路接続：12箇所 PPφ20 (5箇所) PPφ25 (6箇所) SSPφ40 (1箇所)

工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事					
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内(甲府地方気象台の北)					
図面名	平面図	縮尺	図示	分割	2/14	
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.			

標準断面図 S=1:50

配管詳細図(1/2) S=任意



⌘ — : ライナー使用箇所 ※1
甲切・乙切 : 切管有効寸法1.0m以上

※1 一体化長さ

曲管部 : 1.0m(φ150≦45°)/4.0m(45° < φ150≦90°)
丁字管部 : 1.0m(φ150)
仕切弁・管端部 : 9.5m(φ150 DP=0.80・0.90)
(上記以内の直管受口にはライナーを使用する)

※ インナーコア
メカニカル継手を使用する場合、HPPE管にインナーコアの挿入が必要な場合は、各メーカーが指定するコアの挿入量・締付方法等に従い、適切に施工すること。

・K形特殊押輪は30kN仕様とする。
・掘削深がH=1.5mを超える場合には土留工（軽量鋼矢板）を施す。
・施工順序について、事前に監督員に確認して下さい。
・土被り等に変更があった場合には監督員の指示に従って下さい。
・現場状況により上記の配管と相違が生じる場合には、監督員との協議を行ってください。
・既設配水管の切断を行った箇所については、VPキャップを設置すること。

工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事				
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内（甲府地方気象台の北）				
図面名	配管詳細図(1/2)・標準断面図	縮尺	図示	分割	3 / 14
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.		

ライナー使用箇所 ※1
甲切・乙切 切管有効寸法1.0m以上

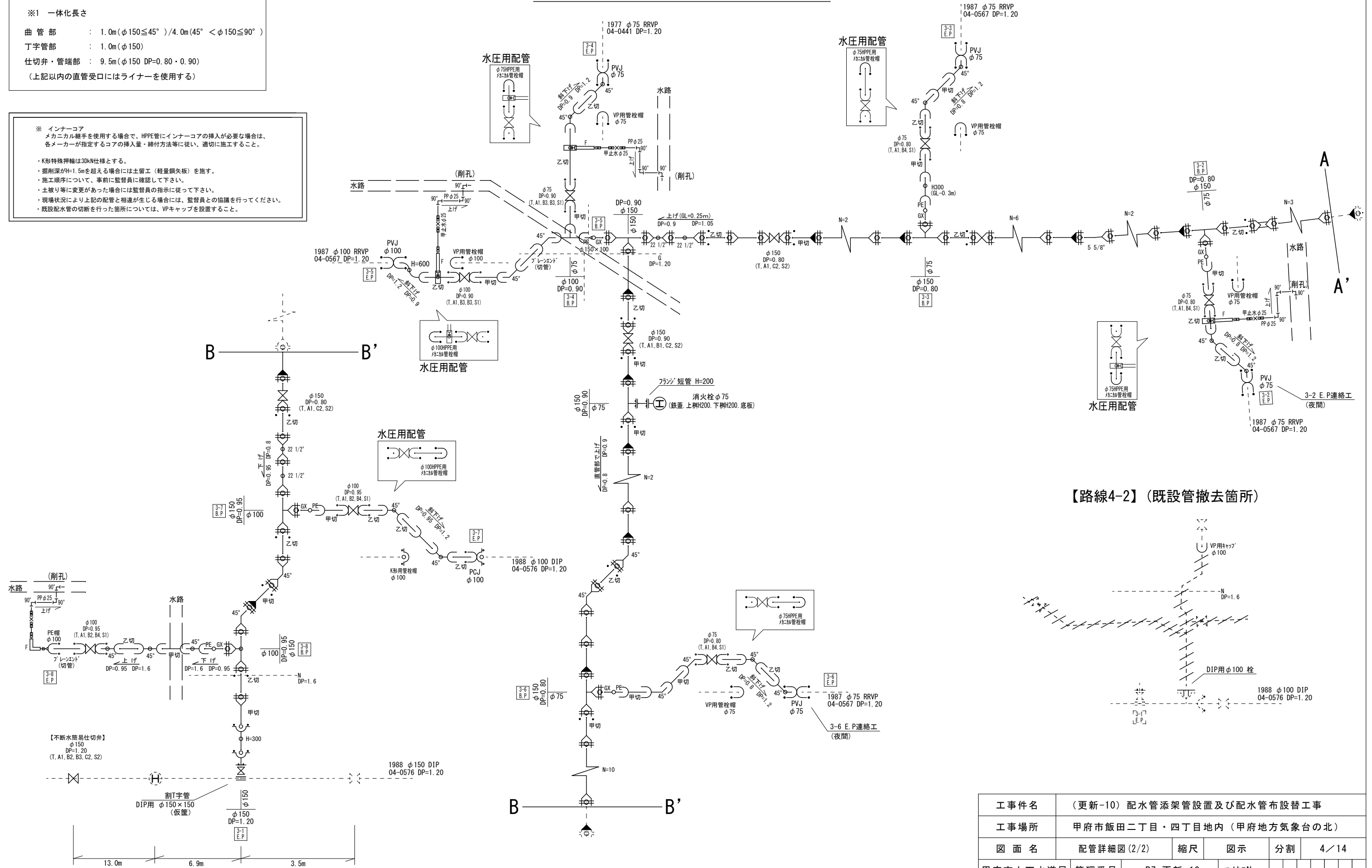
※1 一体化長さ

曲 管 部 1.0m ($\phi 150 \leq 45^\circ$) / 4.0m ($45^\circ < \phi 150 \leq 90^\circ$)
丁字管部 1.0m ($\phi 150$)
仕切弁・管端部 9.5m ($\phi 150$ DP=0.80・0.90)
(上記以外の直管受口にはライナーを使用する)

※ インナーコア
メカニカル継手を使用する場合、HPPE管にインナーコアの挿入が必要な場合は、
各メーカーが指定するコアの挿入量・締付方法等に従い、適切に施工すること。

- ・K形特殊押輪は30kN仕様とする。
- ・掘削深がH=1.5mを超える場合には土留工（軽量鋼矢板）を施す。
- ・施工順序について、事前に監督員に確認して下さい。
- ・土盛り等に変更があった場合には監督員の指示に従って下さい。
- ・現場状況により上記の配管と相違が生じる場合には、監督員との協議を行ってください。
- ・既設配水管の切断を行った箇所については、VPキャップを設置すること。

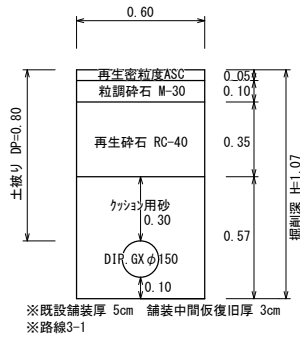
配管詳細図(2/2) S=任意



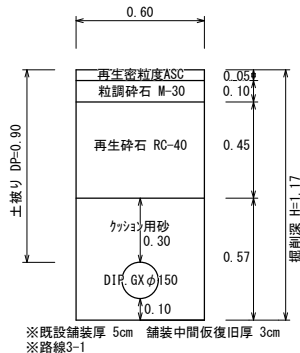
工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事					
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内（甲府地方気象台の北）					
図 面 名	配管詳細図(2/2)	縮尺	図示	分割	4 / 14	
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.			

土工標準図 S=1:25

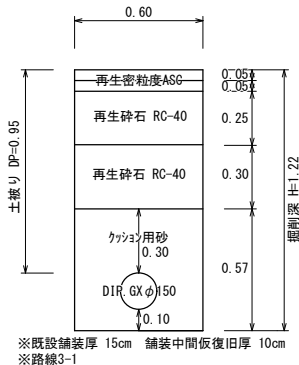
【DIP. GX φ 150, DP=0. 80】
[L=195. 0m] (昼間)
[L=58. 5m] (夜間)



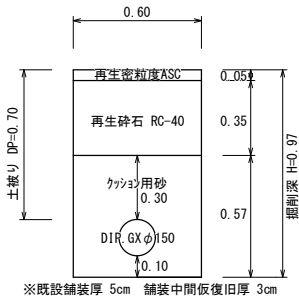
【DIP. GX φ 150, DP=0. 90】
[L=14. 0m]



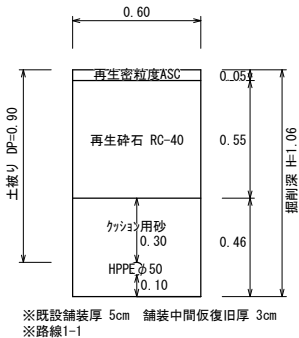
【県道】
【DIP. GX φ 150, DP=0. 95】
[L=12. 0m] (夜間)



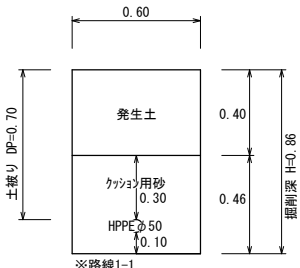
【DIP. GX φ 150, DP=0. 70】
[L=22. 0m] (夜間)



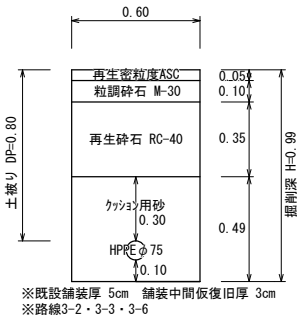
【HPPE φ 50, DP=0. 90m】
[L=10. 0m]



【HPPE φ 50, DP=0. 70m】
[L=40. 0m]



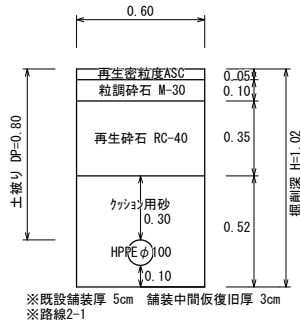
【HPPE φ 75, DP=0. 80】
[L=21. 5m]



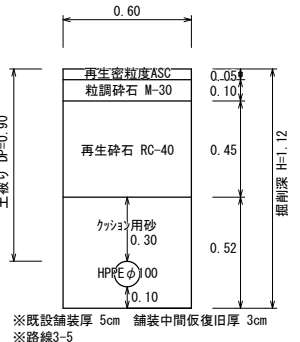
【HPPE φ 75, DP=0. 90】
[L=5. 0m]



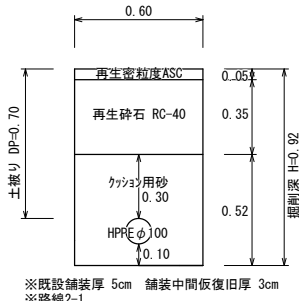
【HPPE φ 100, DP=0. 80】
[L=4. 5m] (夜間)



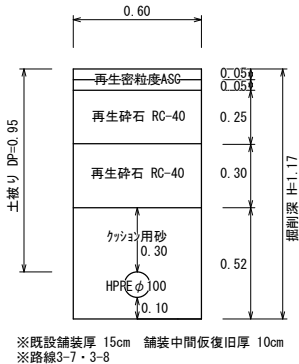
【HPPE φ 100, DP=0. 90】
[L=8. 0m]



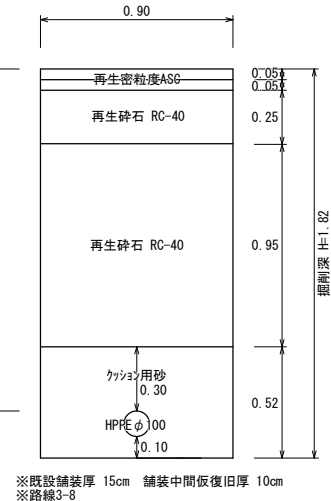
【HPPE φ 100, DP=0. 70m】
[L=3. 5m] (夜間)



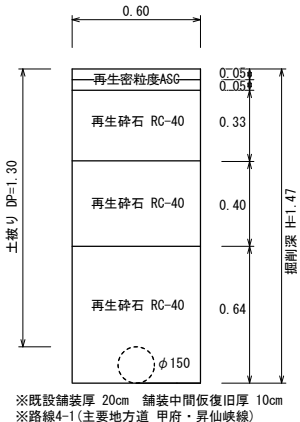
【県道】
【HPPE φ 100, DP=0. 95】
[L=11. 5m] (夜間)



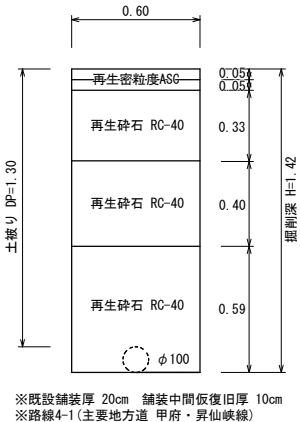
【県道】
【HPPE φ 100, DP=1. 60】
[L=3. 0m] (夜間)



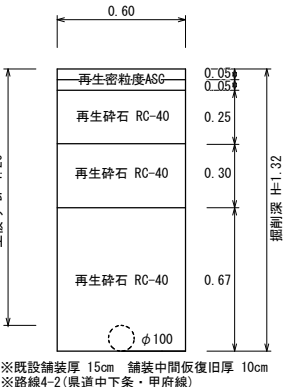
【県道】
【既設管撤去 φ 150, DP=1. 30】
[L=40. 5m] (夜間)



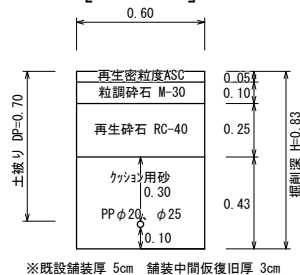
【県道】
【既設管撤去 φ 100, DP=1. 30】
[L=10. 5m] (夜間)



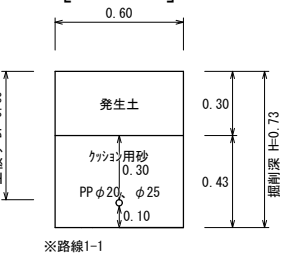
【県道】
【既設管撤去 φ 100, DP=1. 20】
[L=35. 0m] (夜間)



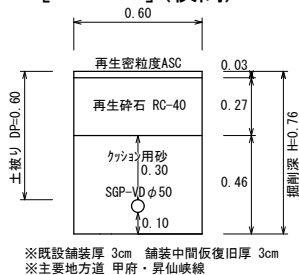
【給水管・水抜栓】
[PP φ 20、PP φ 25]
[DP=0. 70]



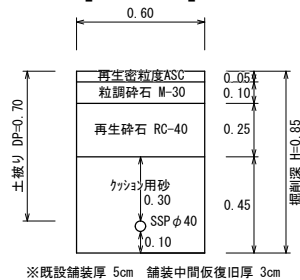
【給水管・水抜栓】
[PP φ 20、PP φ 25]
[DP=0. 60]



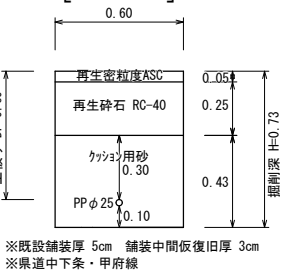
【排泥弁】
[SGP-VD φ 50]
[DP=0. 60] (夜間)



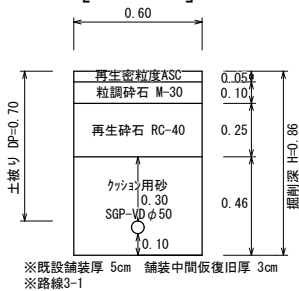
【給水管】
[SSP φ 40]
[DP=0. 70]



【給水管・水抜栓】
[PP φ 25]
[DP=0. 60]



【排泥弁】
[SGP-VD φ 50]
[DP=0. 70]



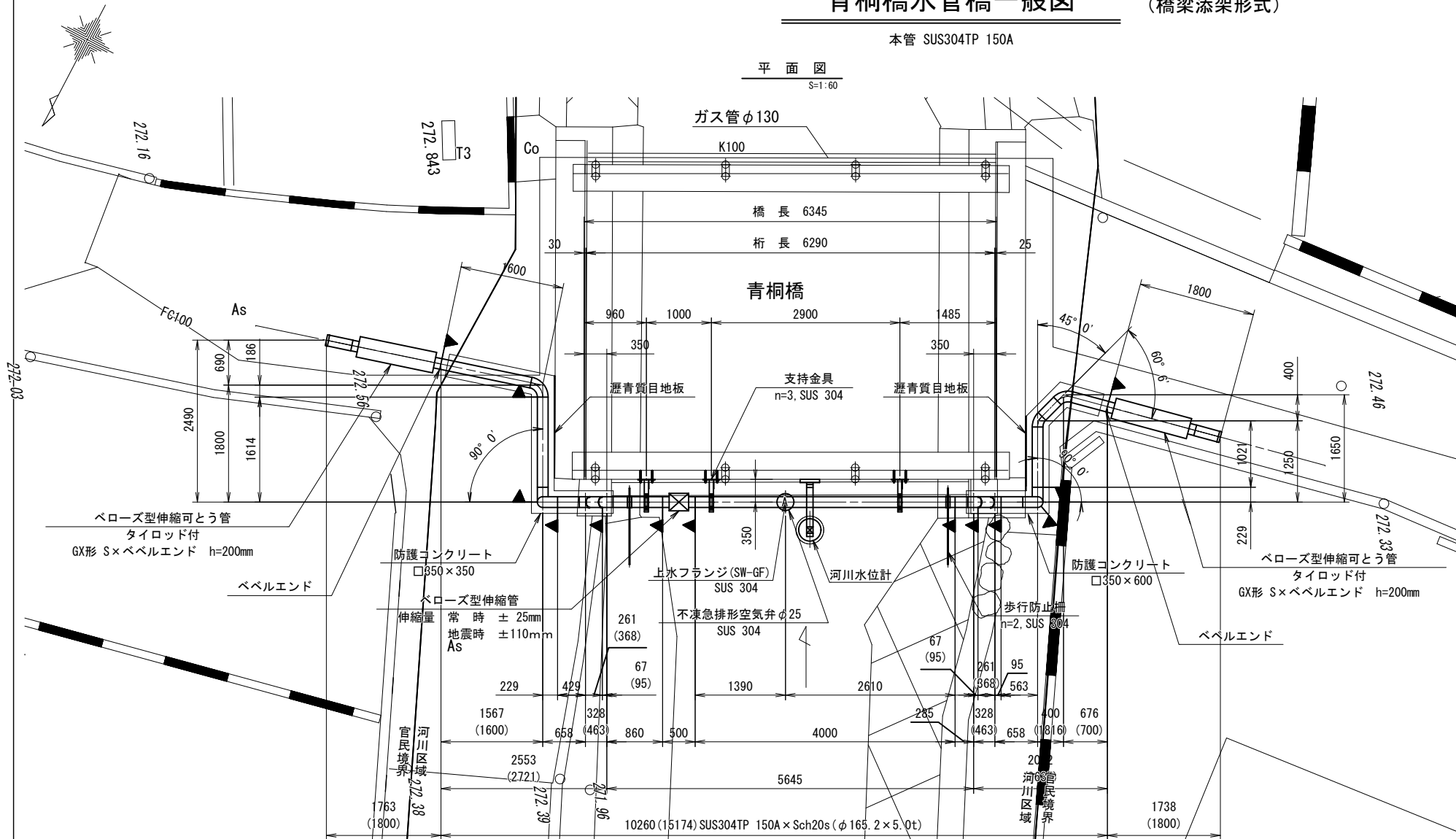
※縮尺はA2で出力した場合

工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事						
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内 (甲府地方気象台の北)						
図面名	土工標準図	縮尺	図示	分割	5 / 14		
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.				

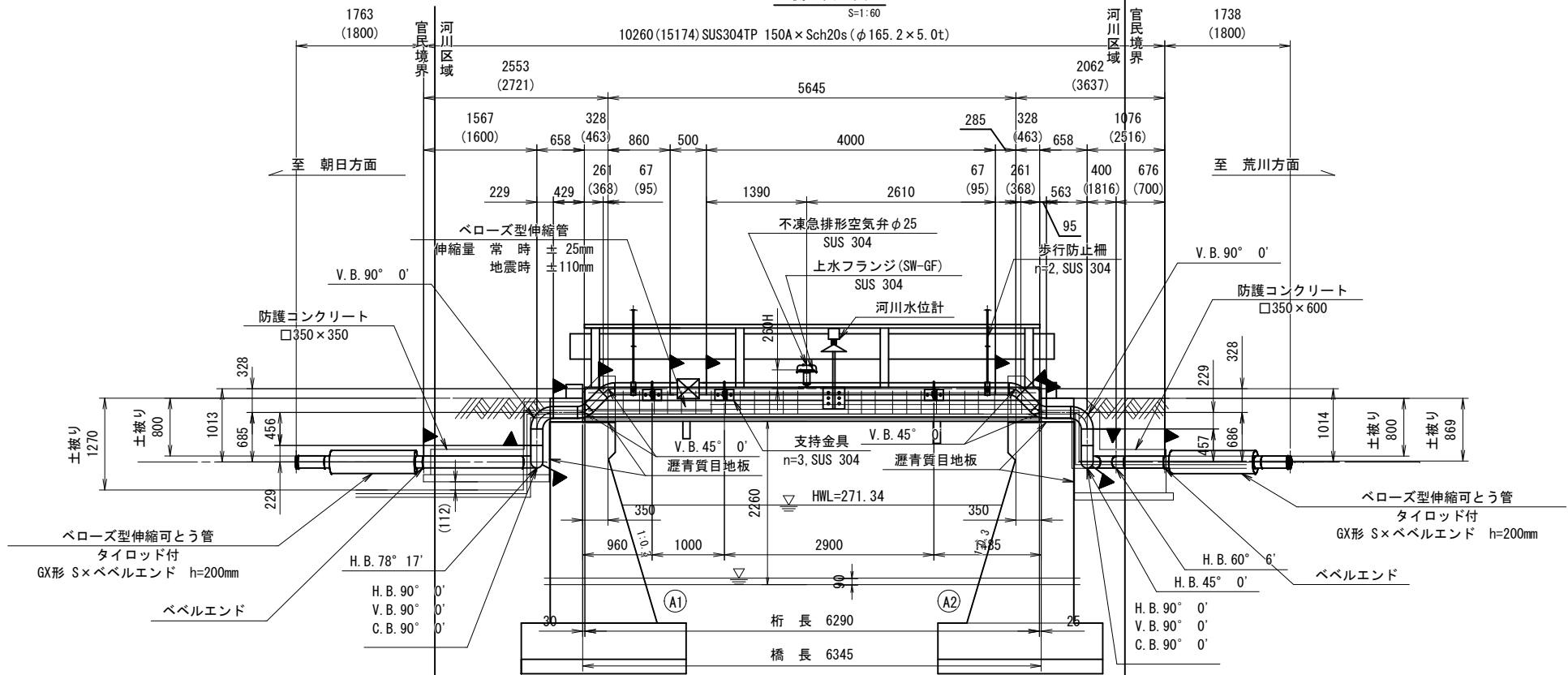
青桐橋水管橋一般図 (橋梁添架形式)

本管 SUS304TP 150A

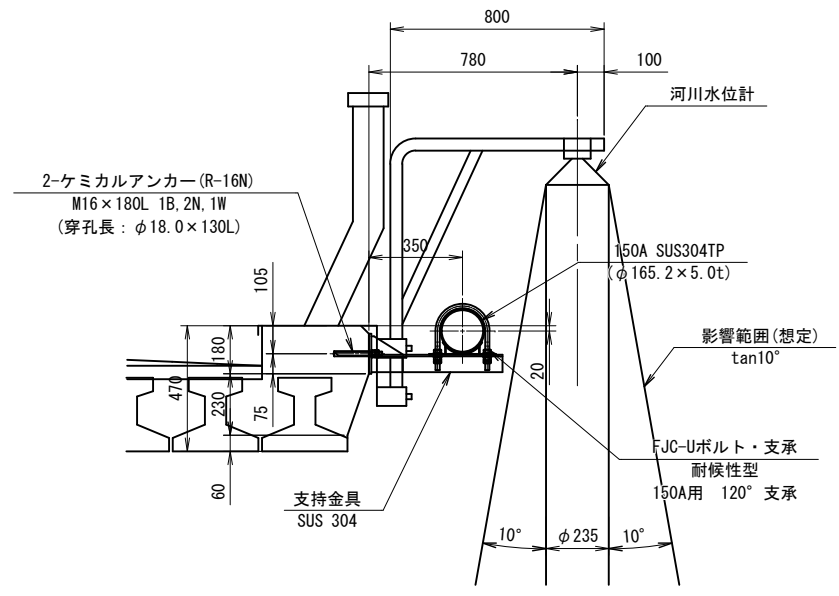
平面図
S=1:60



側面図
S=1:60



断面図
S=1:20



《特記事項》

- 表記単位
特に示さない限り、寸法はmm単位とし、() 内寸法は実長とする。
- 使用材質
特に示さない限り、使用する材質はSUS304とする。
- 適用規格
(1) 鋼管は配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3459による。
(2) その他の鋼材は以下に挙げる規格もしくはこれらに準ずるものを用いる。
・熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼材 JIS G 4304
・冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼材 JIS G 4305
・ステンレス鋼棒 JIS G 4303
(3) 異形管の製作寸法は、水輸送用塗覆装鋼管の異形管JIS G 3443-2による。
- 塗覆装
内外面とも無塗装とする。
- 架空部のベローズ型伸縮管は、地震時変位仕様として以下の性能を有するものとする。
直角方向変位 ±2°、鉛直方向変位 ±3°
- 記号
▶印は現場溶接箇所を示す。
- 製品の品質保証は、日本水道協会の検査合格品とする。
- 設計照査、製作、施工は日本水道鋼管協会の指針に準拠、属するものとする。

※ ▶現場溶接13箇所

- ・露出部 3箇所
- ・埋設部10箇所

※. 製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事					
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内 (甲府地方気象台の北)					
図面名	青桐橋水管橋一般図	縮尺	図示	分割	6 / 14	
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.			

S=1:10

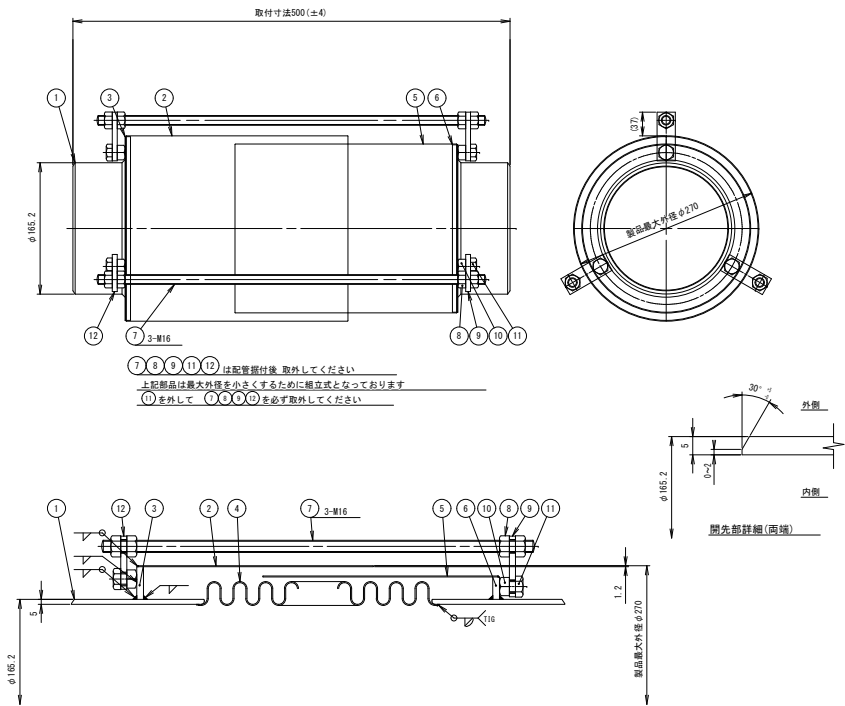
S=1:20

工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事									
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内 (甲府地方気象台の北)									
図面名	青銅橋水管橋部品詳細図(1)			縮尺	図示	分割	7/14			
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10			マイクNo.					

青桐橋水管橋部品詳細図(2)

伸縮管参考図

S=Free



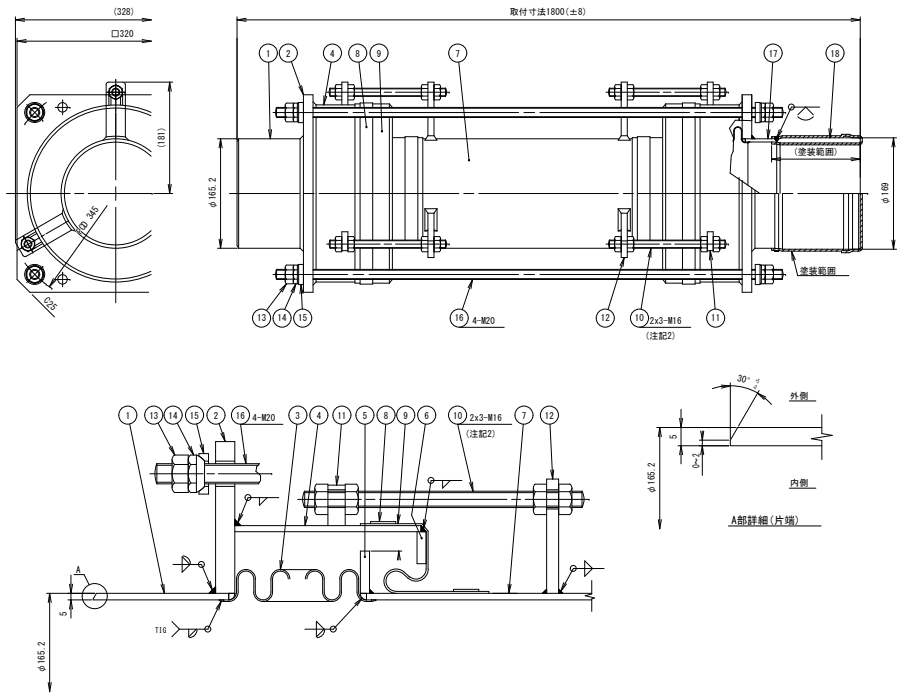
※ 取付・・・無塗装

符号	部品名称	材質	数量	備考
21				
20				
19				
18				
17				
16				
15				
14				
13				
12	ボルトホルダー-2	SUS304	3	
11	六角ボルト	SUS304	6	軸径:ユニクロ
10	取付けナット	SUS304	6	軸径:1号
9	ボルトホルダー-1	SUS304	3	
8	ナット	SUS304	12	軸径:1号 ユニクロ
7	セットボルト	SUS304	3	軸径:ユニクロ
6	支持リング2	SUS304	1	5
5	外管2	SUS304	1	11.2
4	HFベローズ	SUS304	1	
3	支持リング1	SUS304	1	5
2	外管1	SUS304	1	11.2
1	継管	SUS304TP-A	2	150A 15

仕 様	
径 径	φ150 mm
取 付 寸 法	500 mm
製 作 寸 法	500 mm
実位置	軸方向 ±20 (地震時:±90) mm
軸方向	軸径: 9F±1.7・9F±1.7
流 体	上水
設 計 圧 力	0.74 MPa
使 用 圧 力	0.74 MPa
設 計 温 度	常温
試 験 耐 圧	1.19 MPa
重 量	22 kg
選 用 法 規	日本水道協会

伸縮可とう管参考図

S=Free



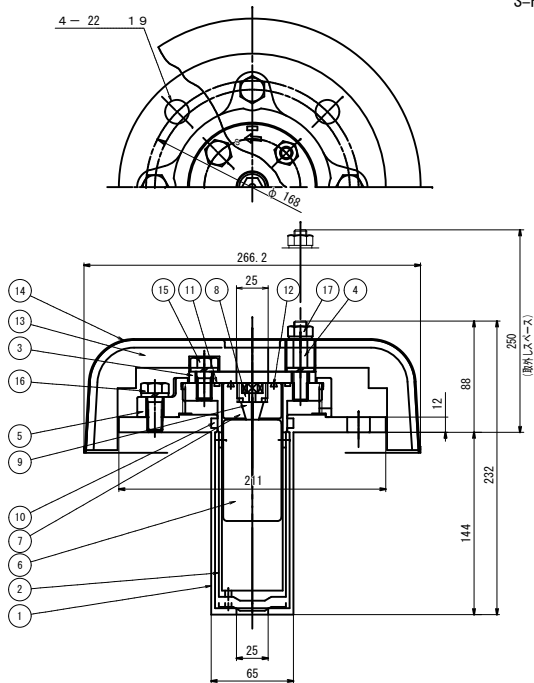
※ 取付・・・無塗装

符号	部品名称	材質	数量	備考
20				
19				
18	継管	SUS304	1	50A 15
17	継管2	SUS304TP-A	1	150A 15
16	タイロッドボルト	SUS304	4	M20
15	継管	SUS304	8	M20用
14	継管ナット	SUS304	8	M20 一様 (加工)
13	止めナット	SUS304	8	M20 一様
12	ボルトホルダー-2	SUS304	6	M16用
11	ボルトホルダー-1	SUS304	6	M16用
10	セットボルト	SUS304	6	M16 軸径 (ユニクロ)
9	カバー	ネオプレンゴム	2	
8	止めバンド	SUS304	4	巻付
7	やねパイプ	SUS304TP-A	1	150A 15
6	内管リング	SUS304	2	15
5	外管リング	SUS304	2	15
4	外管	SUS304TP-A	2	250A 16.5
3	ベローズ	SUS304	2	
2	ガイドフランジ	SUS304	2	118
1	継管1	SUS304TP-A	1	150A 15

仕 様	
径 径	φ150 mm
取 付 寸 法	1800 mm
製 作 寸 法	1800 mm
実位置	軸方向 -
軸方向	軸径: 200 mm
流 体	上水
設 計 圧 力	0.74 MPa
使 用 圧 力	0.74 MPa
設 計 温 度	常温
試 験 耐 圧	1.19 MPa
重 量	98 kg
選 用 法 規	日本水道協会

空気弁参考図

S=Free



取付側フランジ形式: JIS G 5527 (7.5°) : 呼び径75

補修弁: 左回し閉じ (ふたボルトで案内を回す)

全開~全閉・・・2回転

部番	部品名称	材質	数量	換 装
17	六角ナット	SUS304	2	
16	六角ボルト	SUS304	4	
15	六角ボルト	SUS304	2	
14	カバー	SUS304	1	
13	保温材	熱反射シール	1	
12	大空気弁弁座	NBR	1	
11	Oリング	NBR	1	
10	Oリング	NBR	1	
9	小空気弁弁座	SBR	1	
8	弁座押え	ポリスチレン樹脂	1	
7	遊動弁体	ポリスチレン樹脂	1	
6	フロート弁体	エポナイト	1	
5	スリーブリング	CAC406	1	
4	ふたボルト	SUS304	2	
3	ふた	SUS304	1	
2	案内	SUS304	1	
1	弁箱	SUS304	1	

※. 製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

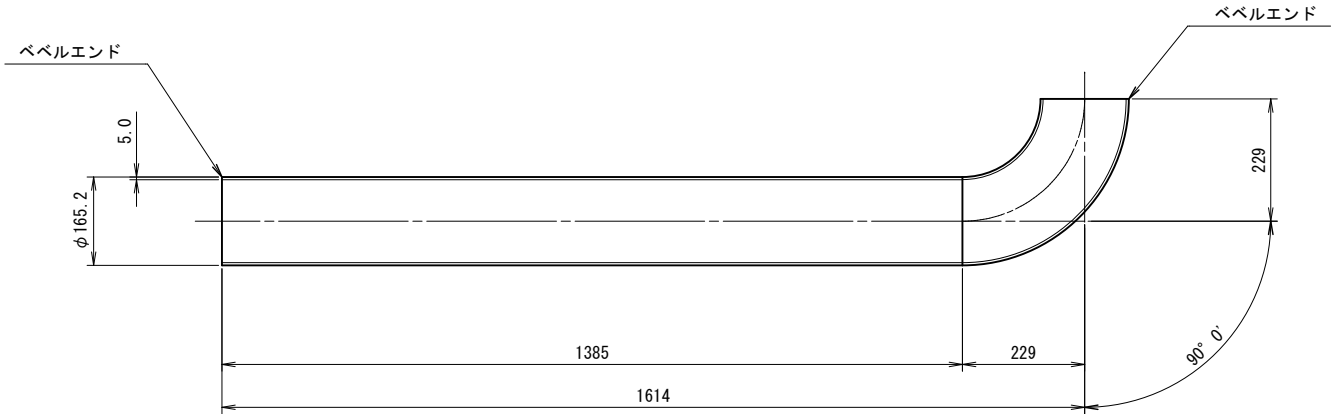
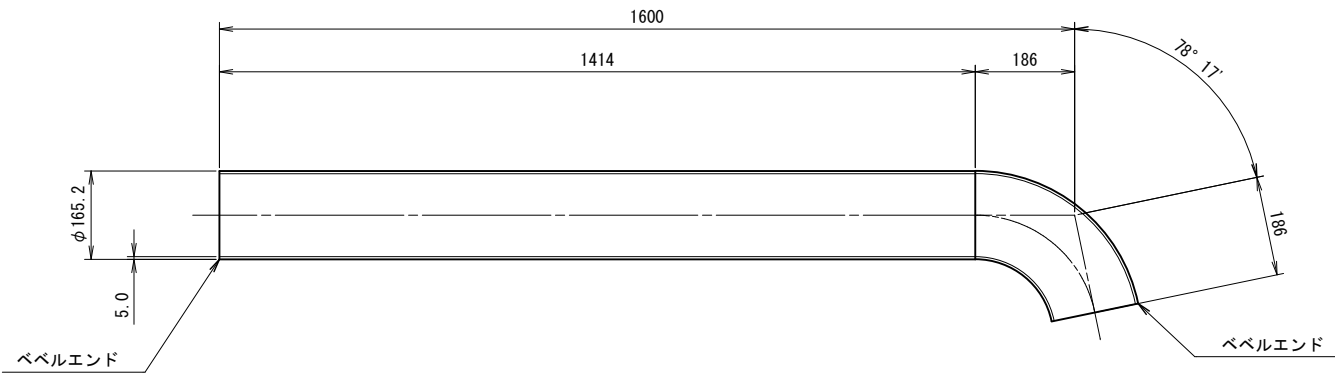
工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事									
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内 (甲府地方気象台の北)									
図 面 名	青桐橋水管橋部品詳細図(2)	縮 尺	図 示	分割	8/14					
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.							

青桐橋水管橋管体図(1)

S=1:10

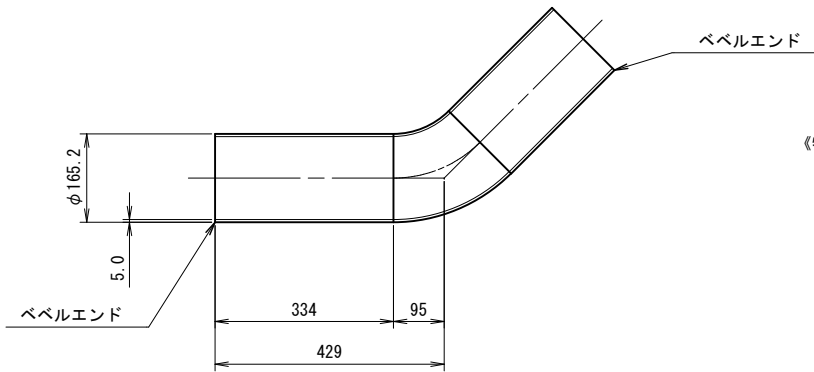
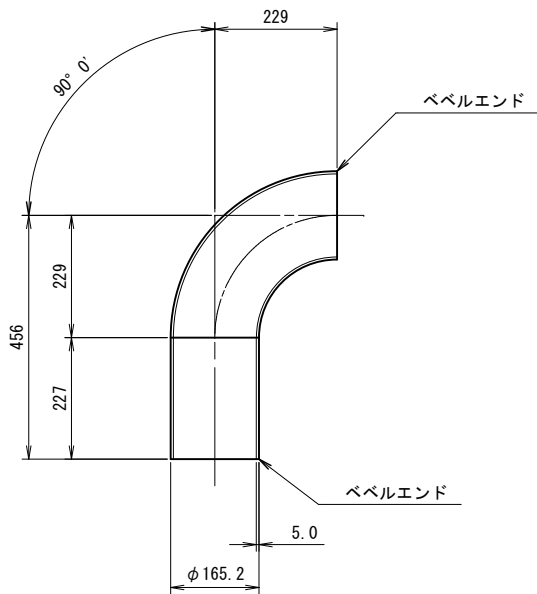
名 称	曲管
寸 法	150A×1600L×78° 17' ×186L
材質（本 管）	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装

名 称	曲管
寸 法	150A×1614L×90° 0' ×229L
材質（本 管）	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装



名 称	曲管
寸 法	150A×456L×90° 0' ×229L
材質（本 管）	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装

名 称	曲管
寸 法	150A×429L×45° 0' ×368L
材質（本 管）	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装



《特記事項》

1. 表記単位
特に示さない限り、寸法はmm単位とする。
2. 使用材質
特に示さない限り、使用する材質はSUS304とする。
3. 設計照査、製作、施工は日本水道鋼管協会の指針に準拠、属するものとする。

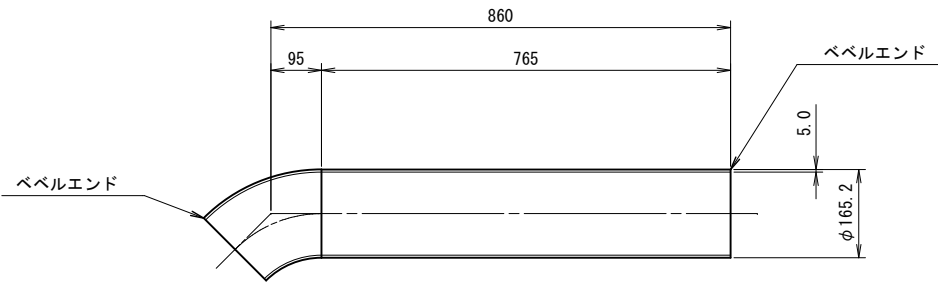
※：製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

工 事 件 名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事									
工 事 場 所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内（甲府地方気象台の北）									
図 面 名	青桐橋水管橋管体図(1)	縮 尺	図 示	分 割	9 / 14					
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10		マイクNo.						

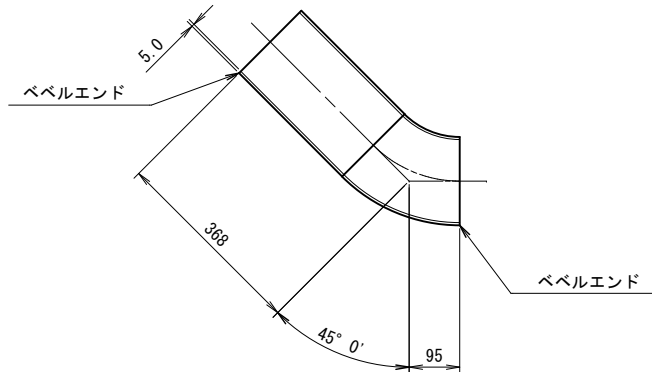
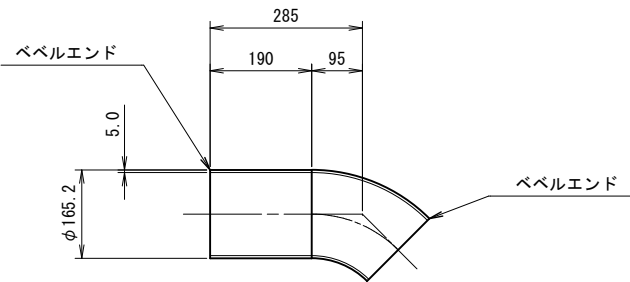
青桐橋水管橋管体図(2)

S=1:10

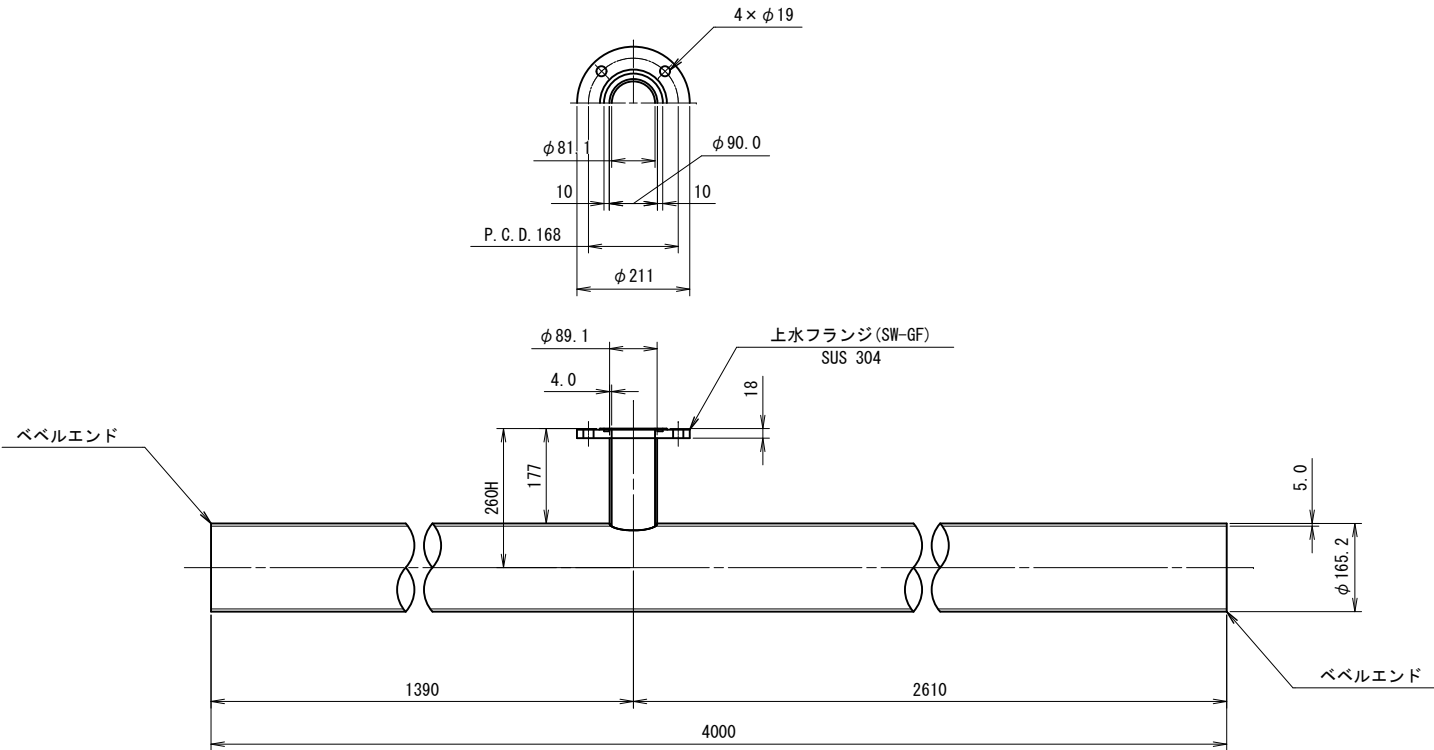
名 称	曲管
寸 法	150A×95L×45° 0' ×860L
材質(本 管)	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装



名 称	曲管
寸 法	150A×285L×45° 0' ×95L
材質(本 管)	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装



名 称	1FT字管
寸 法	150A×80A×4000L×260H
材質(本 管)	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装



名 称	曲管
寸 法	150A×368L×45° 0' ×95L
材質(本 管)	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装

《特記事項》

- 表記単位
特に示さない限り、寸法はmm単位とする。
- 使用材質
特に示さない限り、使用する材質はSUS304とする。
- 設計照査、製作、施工は日本水道鋼管協会の指針に準拠、属するものとする。

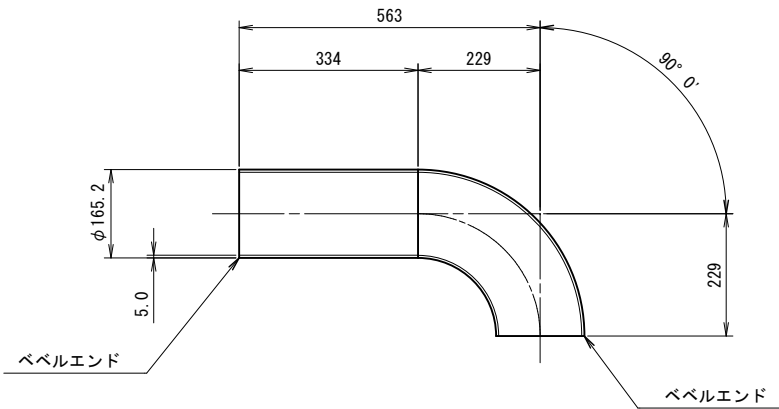
※：製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

工 事 件 名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事									
工 事 場 所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内 (甲府地方気象台の北)									
図 面 名	青桐橋水管橋管体図(2)	縮 尺	図 示	分 割	10/14					
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10		マイクNo.						

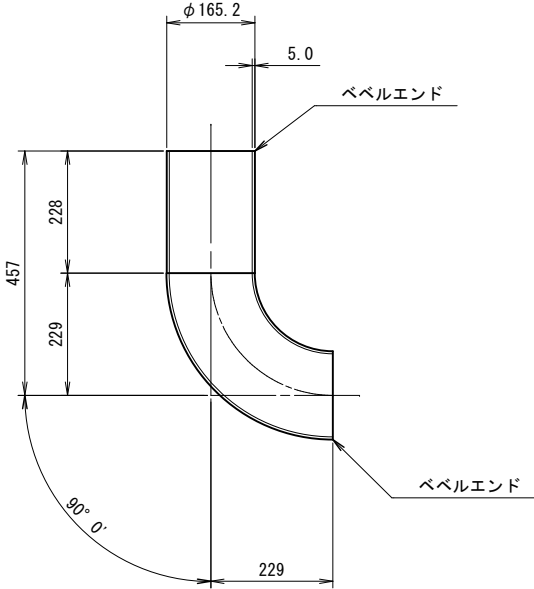
青桐橋水管橋管体図(3)

S=1:10

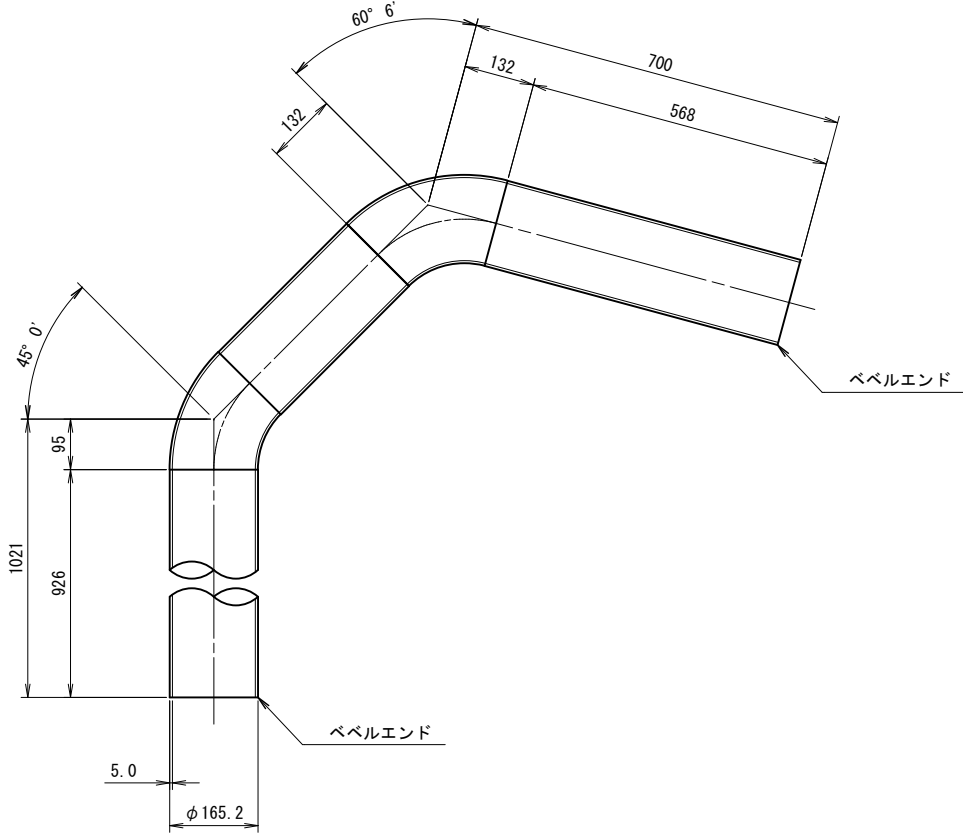
名 称	曲管
寸 法	150A×563L×90° 0' ×229L
材質(本 管)	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装



名 称	曲管
寸 法	150A×457L×90° 0' ×229L
材質(本 管)	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装



名 称	2曲管
寸 法	150A×1021L×45° 0' ×566L×60° 6' ×700L
材質(本 管)	SUS304
製 作 数	1
外 面 塗 装	無塗装
内 面 塗 装	無塗装
埋 設 部 塗 装	無塗装



《特記事項》

- 表記単位
特に示さない限り、寸法はmm単位とする。
- 使用材質
特に示さない限り、使用する材質はSUS304とする。
- 設計照査、製作、施工は日本水道銅管協会の指針に準拠、属するものとする。

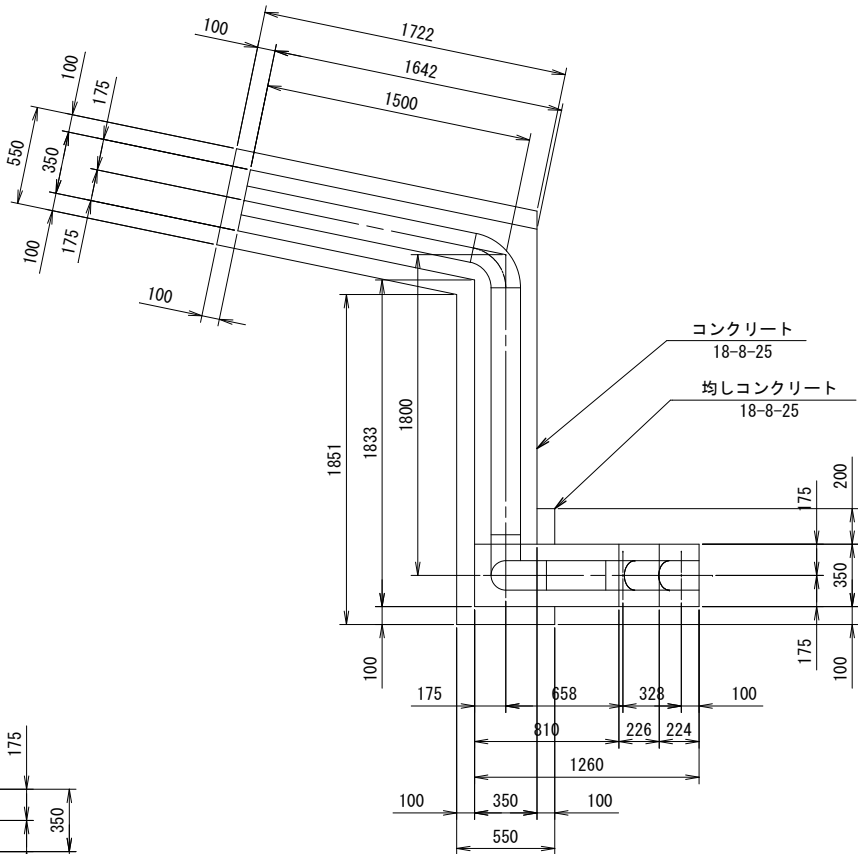
※：製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

工 事 件 名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事									
工 事 場 所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内（甲府地方気象台の北）									
図 面 名	青桐橋水管橋管体図(3)	縮 尺		図 示	分割	11 / 14				
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10			マイクNo.					

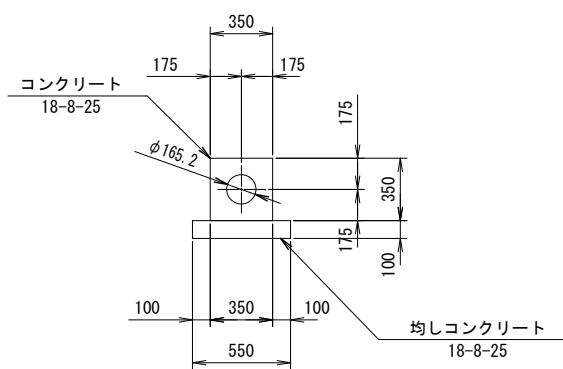
青桐橋水管橋防護コンクリート詳細図

左岸側
S=1:30

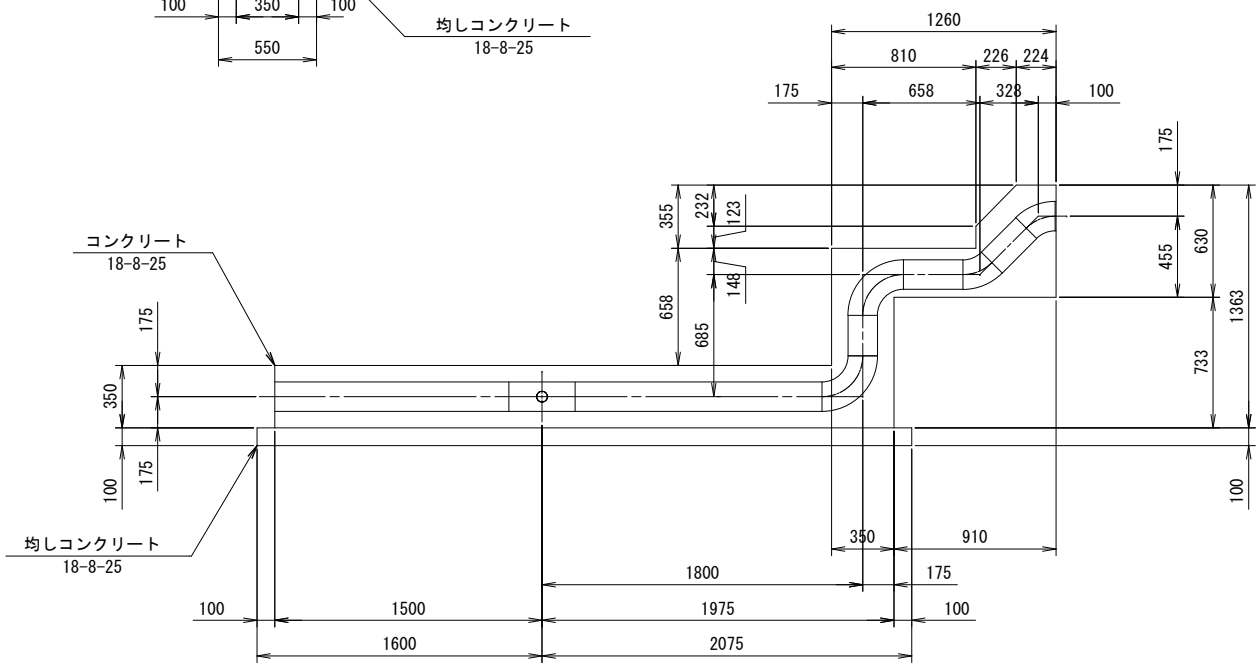
平面図



標準断面図

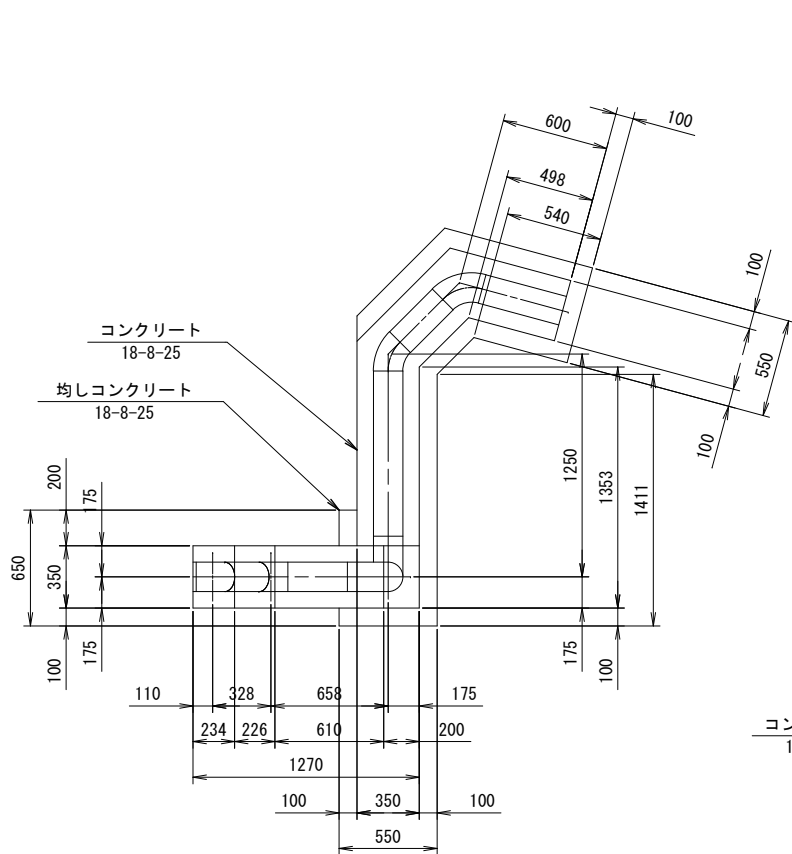


縦断面図

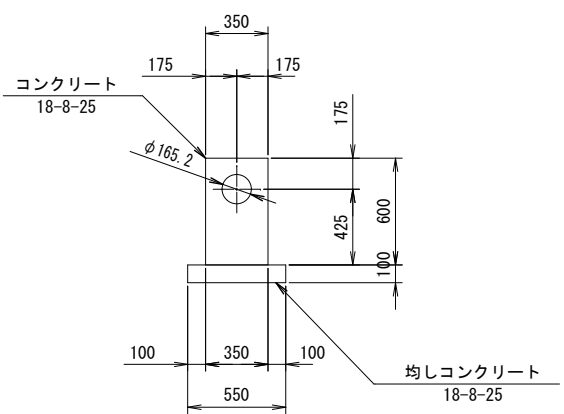


右岸側
S=1:30

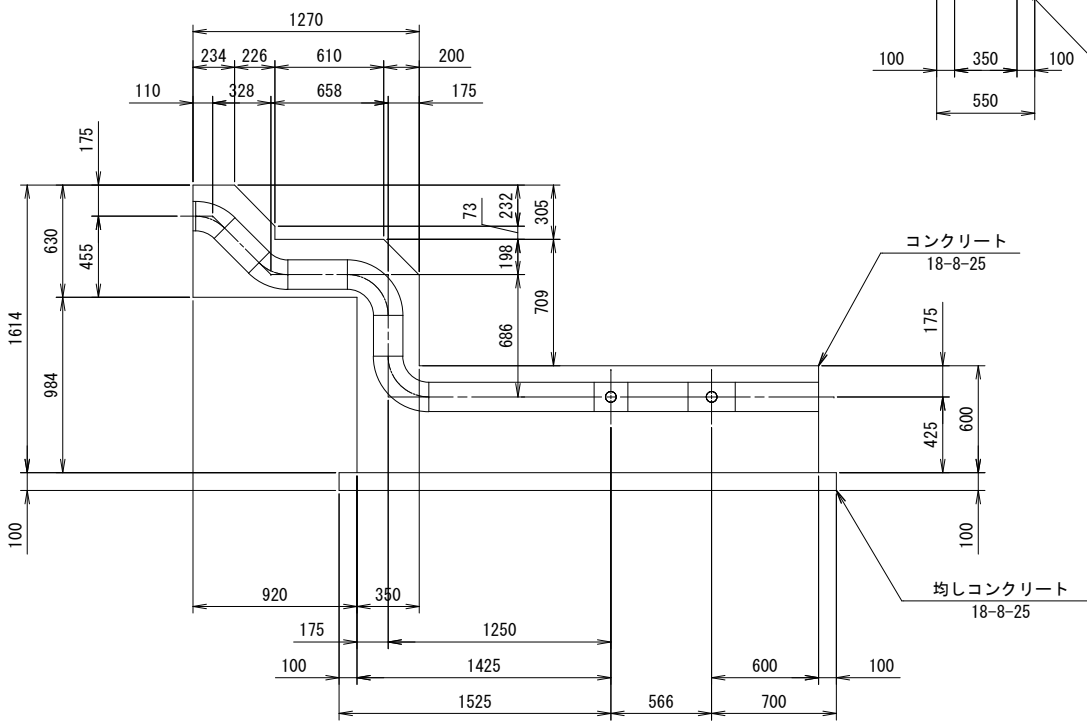
平面図



標準断面図



縦断面図

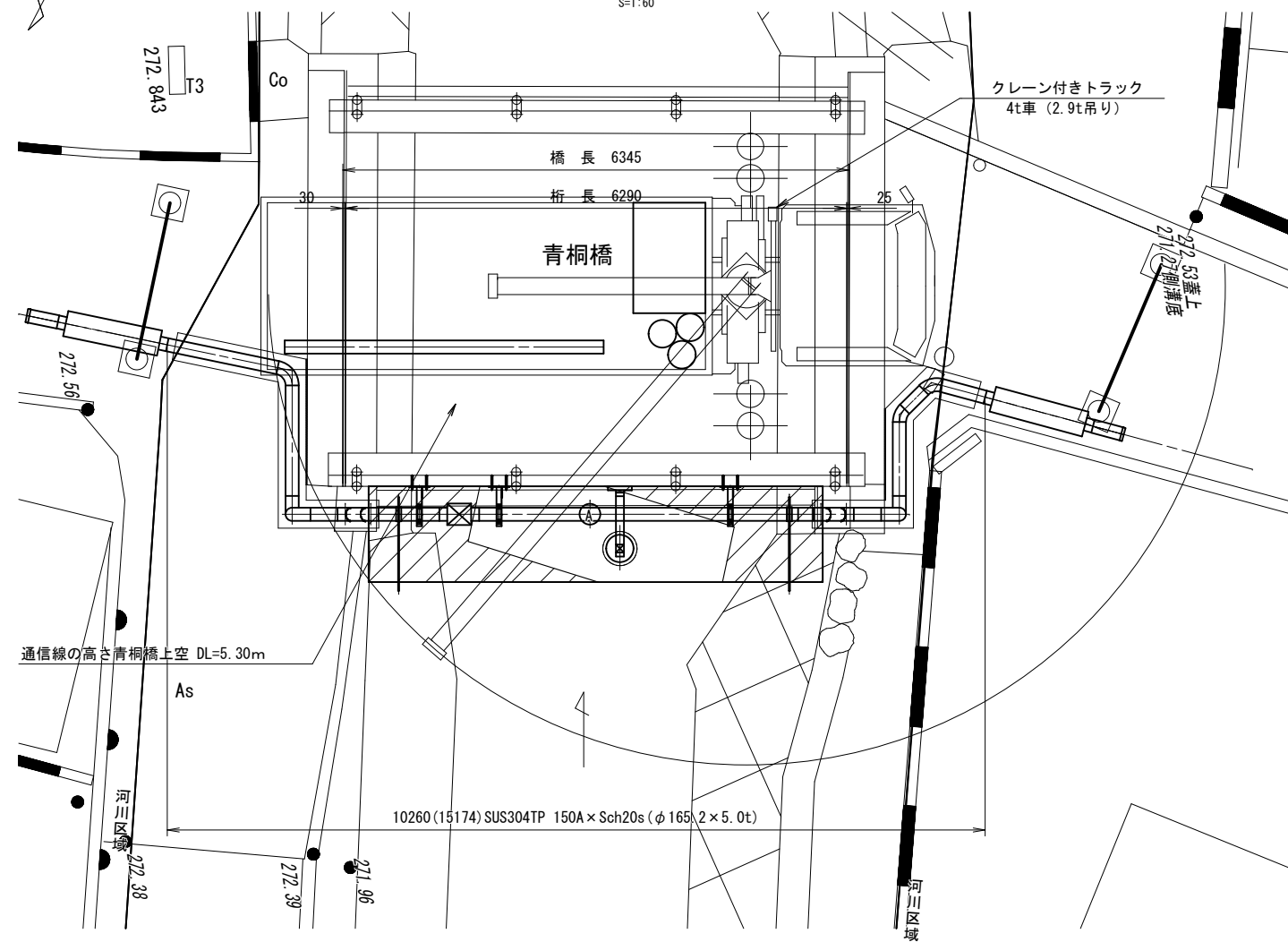


※：製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

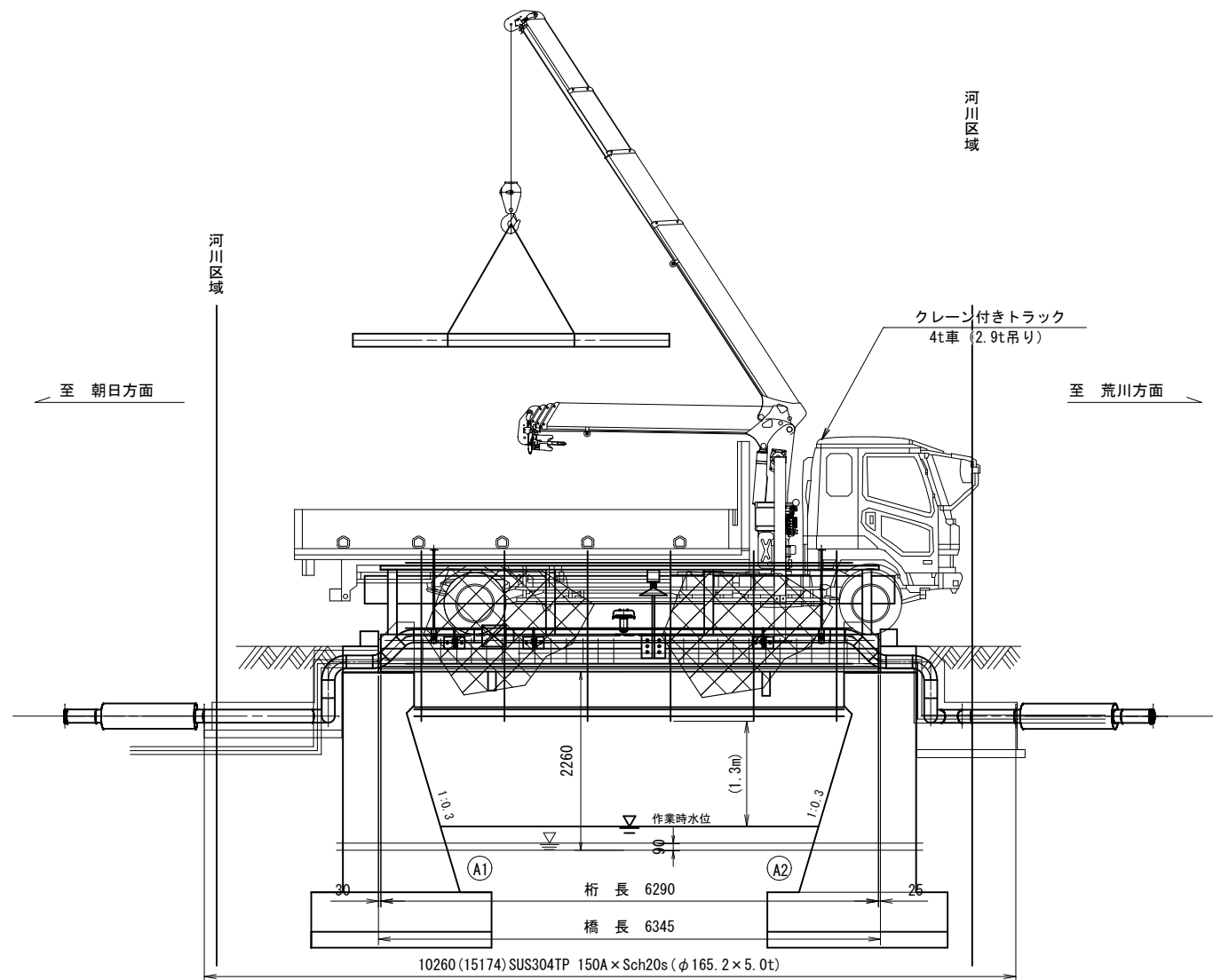
工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事					
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内（甲府地方気象台の北）					
図面名	青桐橋水管橋防護Co詳細図	縮尺	図示	分割	12／14	
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.			

青桐橋水管橋架設計画図（参考図）

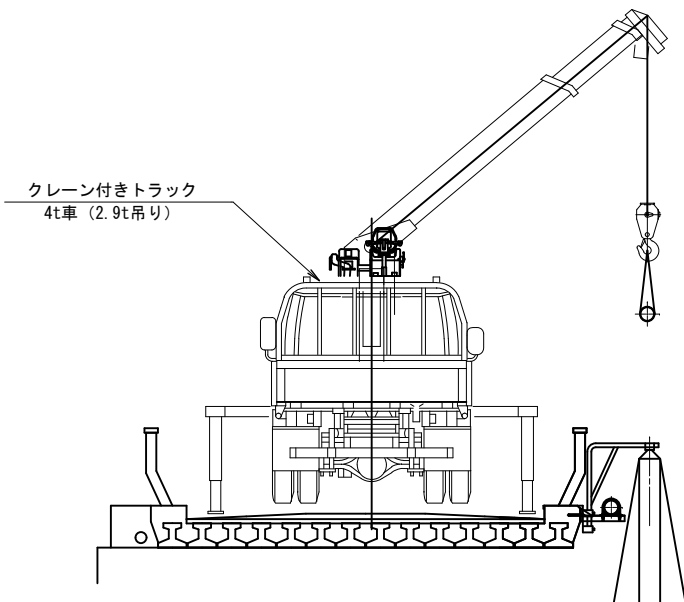
平面図
S=1:60



側面図
S=1:60



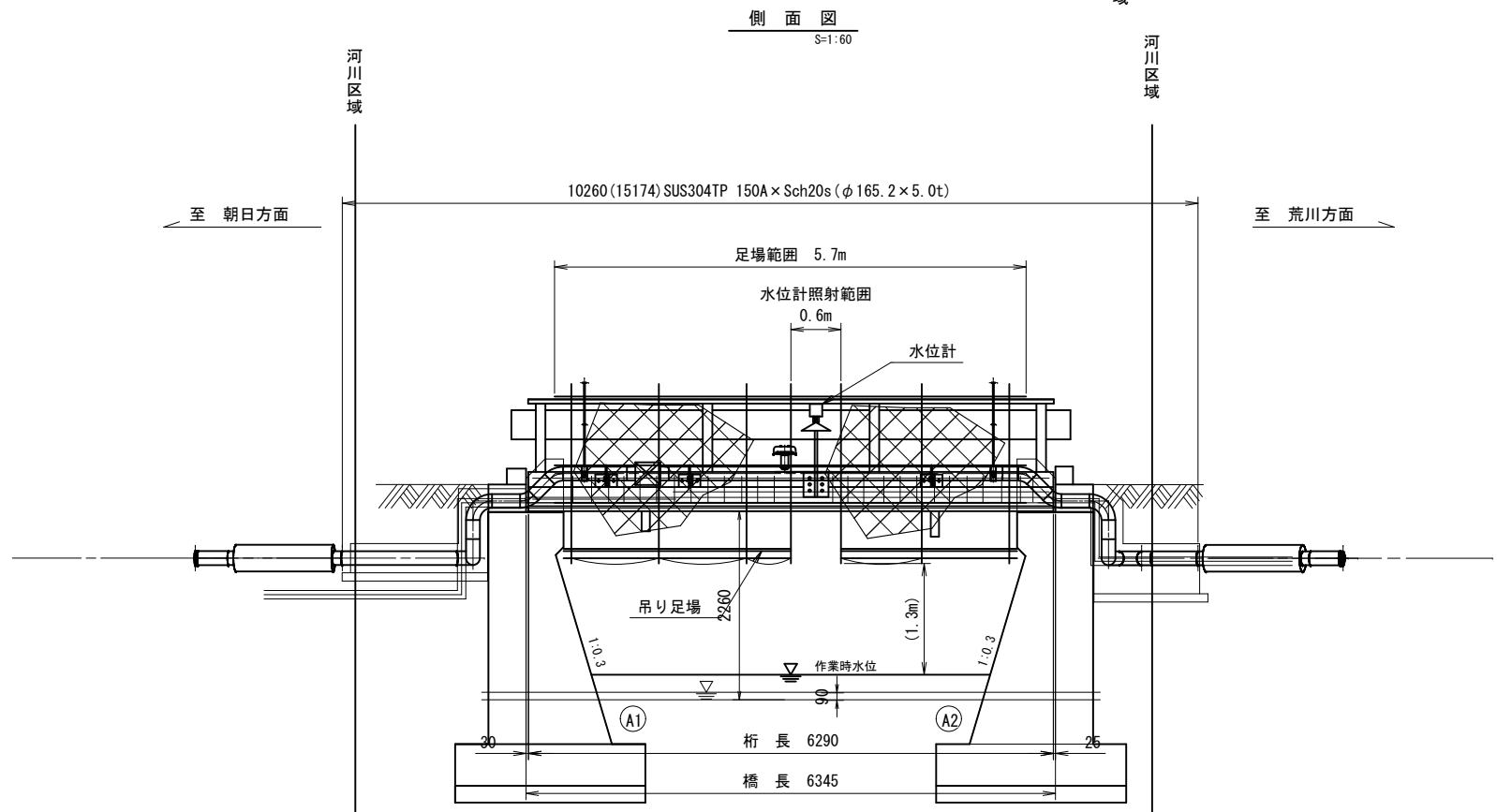
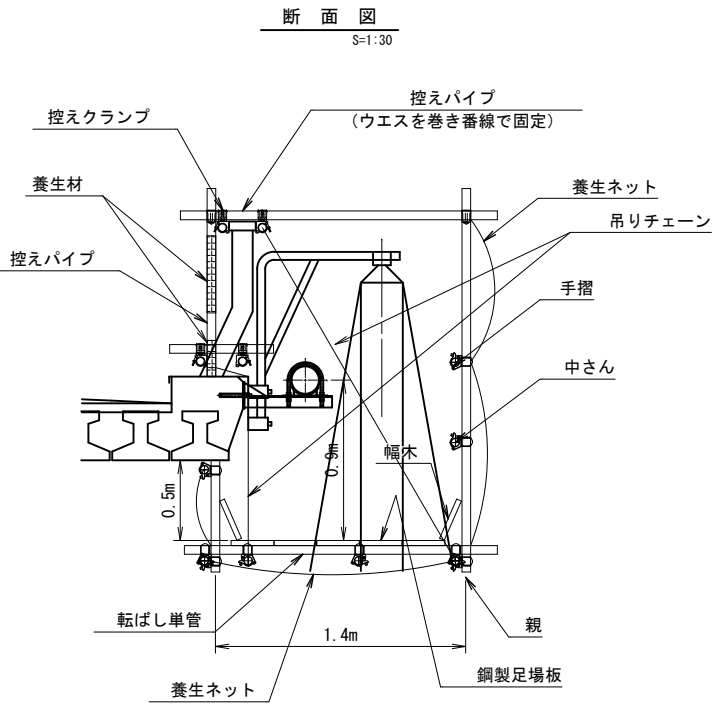
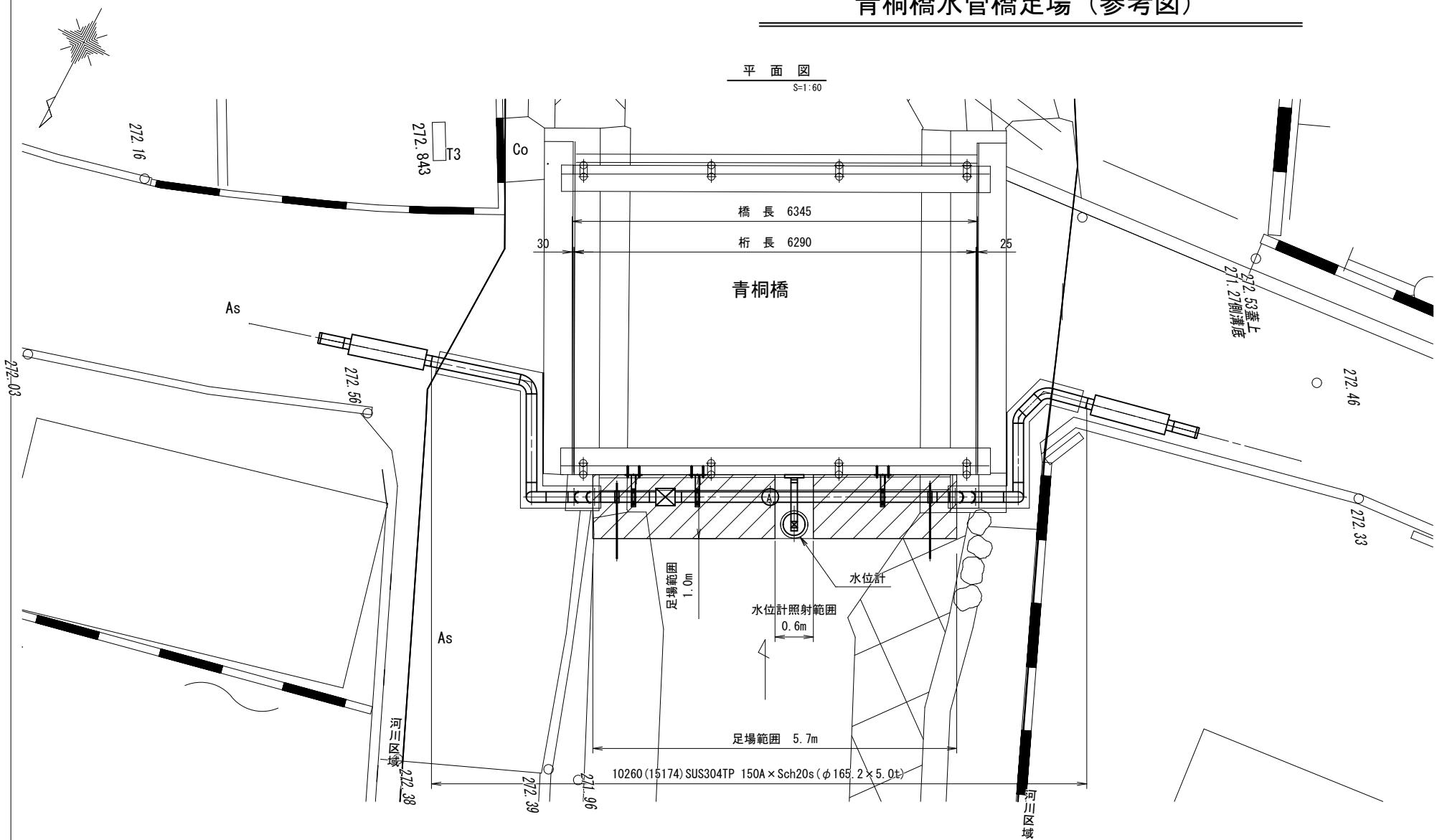
断面図
S=1:60



※電力事業者と電線防護の必要性について確認を行うこと。
※施工時にはアウトリガー部に敷鉄板 (1.0m x 2.0m) を用いること。

工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事					
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内 (甲府地方気象台の北)					
図面名	青桐橋水管橋架設計画図(参考図)	縮尺	図示	分割	13/14	
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.			

青桐橋水管橋足場（参考図）



工事件名	(更新-10) 配水管添架管設置及び配水管布設替工事					
工事場所	甲府市飯田二丁目・四丁目地内（甲府地方気象台の北）					
図面名	青桐橋水管橋足場(参考図)	縮尺	図示	分割	14 / 14	
甲府市上下水道局	管理番号	R7-更新-10	マイクNo.			